



くらしの相談

担当者レポート

第10号

豊田市議会議員

武田かずお

発行日：令和7年10月31日
発行所：トヨタ自動車労働組合
発行人：飯田 智士
編集者：武田 一夫
印刷所：(株)トヨタエンタプライズ

～要望活動～

「令和8年度に向けた政策要望」を市長へ提出。



私の所属する会派「市民フォーラム」（組合推薦議員9名で構成）で作成し、「令和8年度に向けた政策要望」書を8月26日に豊田市太田市長に説明し提出しました。

この要望書では、26の категорияで36項目の具体的な要望を、本市がかかえる社会的課題に対して市民の想いを形にする部局横断的な政策内容として私たちの上部団体の政策指針の4つの柱を軸に議論を重ね纏めました。

今後は、一般質問等を通して政策の実現に向けて取組を進めてまいります。

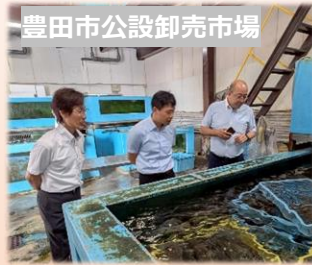
- ・（こども園）フリー保育士の配置拡充
- ・eスポーツを通じた高齢者の元気づくり
- ・防災時における水の確保に向けた取組
- ・持続可能な水素ステーションに向けた助成制度創設
- ・WRC、SS未実施地域への新コースの設定
- ・豊田市駅前を活用したラリージャパンの盛り上げ
- ・公共交通空白地域におけるデマンド交通の運行拡大
- ・いじめ対応への多様なアプローチの整備・・・など36項目



～活動紹介～

・視察・意見交換

先進的な取組をしている他市町村や市有施設への視察を通して得た知見を今後の取組や提案に繋げます。



・地域での活動

地域での社会貢献活動や地域行事に参加するなど、地域での活動にも取り組んでいます。



・その他の活動

ボランティア参加をはじめ、様々な組合活動にも取り組んでいます。



～くらしの相談～ 県道349号線 深見町常楽交差点

路面標示（予告含む2箇所）と注意看板を設置しました。

この交差点は長年、左折レーンと右直レーンという少し特殊な運用形態となっていました。路面標示が消えていたため、左折レーンから直進する車両が散見されるようになり、接触などのヒヤリの声を多くの方からいただきました。



～ご提案ありがとうございました～

「持続可能な物流産業に向けた取組」について質問しました。



物流は豊田市の基幹産業である自動車産業をはじめ、全ての産業や市民生活を支える重要な存在です。また南海トラフ地震など災害時にはライフラインとしても極めて重要な役割を担います。今後も豊田市の物流産業が強靱であり続けるため、物流産業の持続可能性向上に向けて、「人材確保・育成」「効率的な物流環境整備」「経営基盤強化」の3点を中心に質問しました。質問の中で、若年層採用への取組や資格取得支援、AI機器導入、道路の整備と維持管理、物流DX推進、BCP策定支援、特殊車両通行許可申請の早期認可などを提案しました。市の答弁では、各種補助制度や支援策の現状と今後の取組が示され、物流の生産性向上と災害時の強靱化に向けた施策を確認することができました。



一般質問動画 (市HP)

～議会・市政情報～

こども園0～2歳児の受入れ枠拡大

豊田市では、女性の就労意向の強まりや、共稼ぎ世帯の増加に伴い、0～2歳児の就園数が増加しています。また、今後もその傾向は強まり増加すると予測されます。このような背景から、令和8年4月1日より豊田市立の高橋こども園と野見こども園の2園を保育所認可に切り替え、0～2歳児の受入れ枠を拡大します。私たち市民フォーラムでも市長に要望書を提出するなど取組んできました。



水素と軽油の値差への支援制度創設

豊田市の水素ステーションでは、対軽油の差額が少ない価格で水素が販売されます。その結果として、トラックなどの物流事業者だけでなく、燃料電池自動車を使用する市民も安い価格で水素の充填ができるようになります。

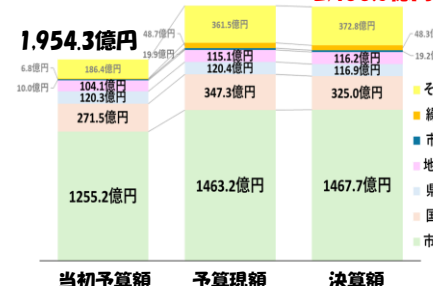
※令和7年10月～
(最大で令和12年度末まで)



令和6年度一般会計決算

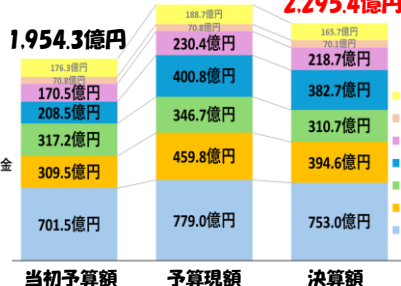
【歳入】

2,476.2億円 2,466.0億円



【歳出】

2,476.2億円 2,295.4億円

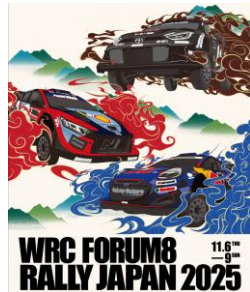


- 令和6年度の歳入は2,466億円余で、前年度比295億円余の増となりました。市税は1,467億6,637万円です。市内企業業績の好調による法人市民税の増加が主因です。
- 歳出は2,295億円余で、積立金や扶助費、人件費が増加しています。
- 市民一人当たり歳出額実績は、教育費が7万7千円余、普通建設事業費が9万5千円余、民生費の単独事業費が8万7千円余と中核市平均を大きく上回っており、市民一人当たり歳出額は、高い水準を維持し、適切な市民サービスを維持しています。

世界ラリー選手権(WRC)日本大会開催

～WRCで豊田をラリーの聖地に！～

2025.11.6(木)～9(日)



2025年1月に、ラリー・モンテカルロから開幕したFIA世界ラリー選手権の日本大会が今年も11.6(木)～9(日)の期間で豊田市で開催されます。豊田市では、期間中はもとより開催前より市内各所にて様々なイベント等が行われます。今年も、皆様とともに盛り上げていきましょう。

デジタル放送(dボタン)による情報発信

豊田市は、市の情報をより多くの方にお届けするため、ご家庭のテレビのデータ放送(dボタン)を通じての市政情報配信サービスを9月1日よりスタートしました。(東海テレビ、中京テレビ、CBCテレビ、メ〜テレ)

広報とよた等で発信している催しや手続き、各種募集に関する情報が表示されます。また災害発生時には、緊急避難場所の開設状況や避難指示などの防災情報を中心に表示します。



トヨタ自動車労働組合HP カバネット

ID : KABA
PASS : 2019

<https://www.kabanet.org/>



くらしの相談 検索システム

<https://kurashino-soudan.jp/>



日々の活動など 投稿しております フォローをお願いいたします

https://www.instagram.com/takeda_r5/?r=nametag






「武田 かずお」が掲げる主な公約と取り組み

豊田市議会議員

武田一夫

*進捗状況：100%:実現、75%:実現に向け実行中、50%:実現に向け計画中、25%:調査中、0%:動きなし

大分類	取り組みテーマ	テーマに対する取組内容	進捗状況
I. 安全なまちづくり 	① 交通安全対策の推進	・ゾーン30プラス推進 ・安全運転支援システム構築推進	100%
	② 防犯対策の推進 政策要望でプッシュ	・防犯カメラ設置促進 (R6年度70基設置)	75%
	③ 防災対策の推進	・マイタイムラインシートデジタル化推進 (R6年度実施) ・防災土育成支援充実 (R6年度実施)	100%
II. 安心なまちづくり 	① 公共交通整備の促進 政策要望でプッシュ	・地域、時流に適した地域公共交通の見直し促進 ・交通結節点整備推進	50%
	② 超高齢化社会対策の推進 一般質問でプッシュ	・福祉介護窓口スマート化推進 ・認知症支援施策充実 ・相談窓口周知促進	75%
	③ 教育環境の充実	・休日部活動地域移行推進 (豊田市版人材バンク創設) ・体育館の暑さ対策推進 (R7年8月完了)	100%
	④ 子育て支援の充実 一般質問でプッシュ	・0-2歳児保育受入れ枠拡充 ・保育士拡充	75%
III. 元気なまちづくり 	① 産業の活性化 政策要望でプッシュ	・中小企業人材確保支援強化 ・水素社会構築推進 ・物流ネットワークの強化 一般質問でプッシュ	75%
	② スポーツ環境の充実	・市内スポーツ施設整備推進	50%
	③ 集いの場整備の促進 政策要望でプッシュ	・新博物館利活用推進 ・ラリーを生かしたイベント拡充	75%

表面 取り組み内容の詳細 補足等

I. 安全なまちづくり

① 交通安全対策の推進

・ゾーン30プラス推進

道路交通法の改正により、2026年9月から、住宅街などにある中央線がなく道幅の狭い「生活道路」の法定速度が、時速60kmから30kmに引き下がりますが、豊田市では**今後も狭さく等の物理的デバイスの適切な組合せ**により交通安全の向上を図る**ゾーン30プラスの推進**に取り組んでいきます。

② 防犯対策の推進

・防犯カメラ設置促進

令和7年度から市内主要交差点、約70カ所にネットワーク型カメラを設置し、運用を始めています。しかし、市内では自動車盗難等や住宅侵入盗が多発していることから私たちの会派「市民フォーラム」では**「令和8年度に向けた政策要望」において、更なる防犯カメラ設置拡充を要望しています。**

II. 安心なまちづくり

① 公共交通整備の促進

・地域、時流に適した地域公共交通の見直し促進

【令和8年度に向けた政策要望で市へ要望の取組中】

豊田市は広大な市域と中山間地域を有し、特に高齢者や子どもにとって移動手段の確保は大きな課題と捉えています。このような背景からも、通院・通学をはじめとした日常の移動支援を通じて、誰もが安心して移動できる環境の整備に取り組むよう要望をしています。

①市長公約でもある公共バスの運賃軽減策について、さらなる拡充を図り、子ども・高齢者の移動支援を強化。

②デマンド交通について、地域資源の活用を通じて対象地域の拡充

④ 子育て支援の充実

・0-2歳児保育受入れ枠拡充

令和6年度は、幼稚園認可園を保育所認可園に移行するために**トヨタ、平山**の工事を行い、令和7年度から**2園で51人の受入れ枠を拡大**、令和7年度は、さらに2園の工事を行うことにより令和8年4月1日より豊田市立の**高橋こども園と野見こども園を保育所認可に切り替え**、0～2歳児の**受入れ枠を拡大**します。

・保育士拡充

【令和7年6月定例議会一般質問にて提言】

保育士の確保と離職を防止するため、業務をサポートするフリー保育士を各園にバランス良く配置・拡充することを提案しました。市からは「フリー保育士の配置は、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりと、保育士の負担軽減の両面から重要であると考えます。拡充に向けては、**今後、保育士全体の増員を計画しており、園の状況に応じてフリー保育士を適切に配置していきます**」との前向きな答弁がありました。



III. 元気なまちづくり

① 産業の活性化

・物流ネットワークの強化 【令和7年9月定例議会一般質問にて提言】


～9月定例議会～ “一般質問 登壇”

「持続可能な物流産業に向けた取組」について質問しました。



物流は豊田市の基幹産業である自動車産業をはじめ、全ての産業や市民生活を支える重要な存在です。また南海トラフ地震など災害時にはライフラインとしても極めて重要な役割を担います。今後も豊田市の物流産業が強靱であり続けるため、物流産業の持続可能性向上に向けて、「人材確保・育成」「効率的な物流環境整備」「経営基盤強化」の3点を中心に質問しました。質問の中で、若年層採用への取組や資格取得支援、AI機器導入、道路の整備と維持管理、物流DX推進、BCP策定支援、特殊車両通行許可申請の早期認可などを提案しました。市の答弁では、各種補助制度や支援策の現状と今後の取組が示され、物流の生産性向上と災害時の強靱化に向けた施策を確認することができました。

出展：国土交通省



一般質問動画 (市HP)